

医療安全管理部

1. スタッフ構成

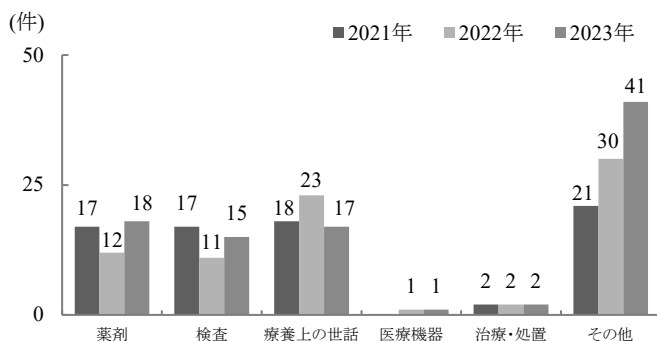
○山本 英一;医療安全管理部長
○近藤 裕司;医療安全管理副部長
○高石 裕二;管理次長
○越智 祐二郎;管理課長
○松尾 有記;チーフリスクマネジャー
＜医局＞
○花岡 潤、芝 陽介
＜看護部＞
○阿部 カナエ、濱田 季美、河野 美晴、岩本 悟志
＜薬剤部＞
○玉井 宏一
＜検査部＞
○魚部 裕子
＜臨床工学部＞
○久枝 正実
＜放射線部＞
○宇都宮 慎一、曾我部 翔
＜栄養部＞
○三ツ井 照代
＜リハビリテーション部＞
○木口 大輔
＜事務局＞
○日野 純子、川本 亜希子
＜愛媛ホスピタルパートナーズ＞
○岡田 和也、川原 紅美

2. 運営方針

前年度に引き続き、時に重大な医療事故に発展する恐れがある患者誤認の低減、インシデント・アクシデントの低減と報告件数3,200件以上の維持を目標に掲げ、活動しています。

3. 実績

■ 患者誤認発生データ



(1) 患者誤認低減の取り組み

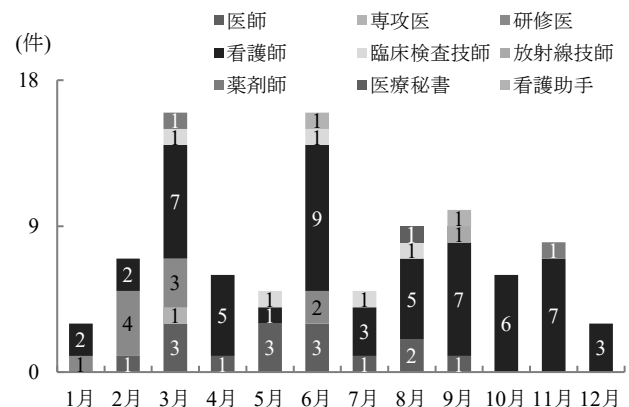
・ 患者誤認事例の分析・検討

まずは患者誤認を防止する取り組みの一つである復唱・指差し呼称・ダブルチェックに関して、全職員に e-learning を活用し、学習してもらうことで周知を図りました。その上で有害事象に繋がる恐れのある患者誤認インシデント事例を毎月 1 事例コアミーティングで取り上げ、事例検討を実施し、部署に検討した対策をフィードバックすることで、具体的改善策となるよう支援しました。不定期ではありますが、医療安全ニュースでインシデント分析結果や患者誤認データを配信することで誤認防止の取り組みの重要性を意識づけしました。

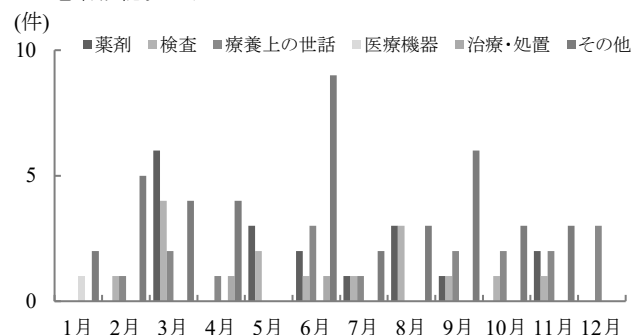
(2) 医療安全院内ラウンド

医療安全ラウンドでは、定期的に患者誤認防止行動(フルネームでの確認、バーコードリーダーや受診票などによる患者照合)について聞き取りを実施しました。9 月と 2 月の調査結果を比較すると、フルネーム確認は 50%から 59%、バーコードでの認証は 5%から 23%に微増していました。看護師間でも同姓患者の情報共有は 100%でしたが、2023 年患者誤認件数は前年より 15 件も増加していました。どんな場面でもどの職種でも発生しており、職種別にみると看護師が 72%を占めていました。その要因には様々な場面で患者と関わる機会が多く、最終場面での確認行為は看護師により行われているためであると思われます。ただ、インシデント背景要因をみると確認不足が多く挙げられており、患者誤認防止の基本原則を遵守していないことが原因であるため、次年度はさらに取り組み強化が課題と言えます。

■ 職種別患者誤認件数



■ 患者誤認発生データ

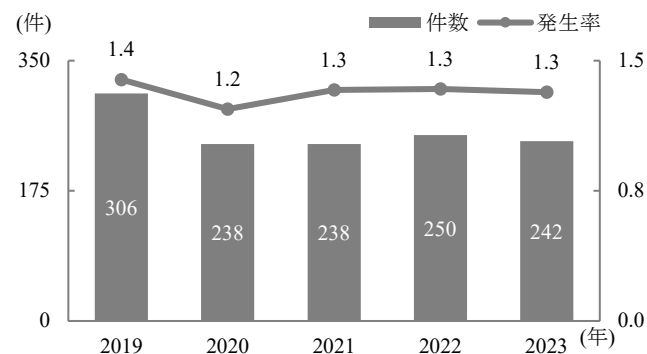


(3) インシデント・アクシデントの低減

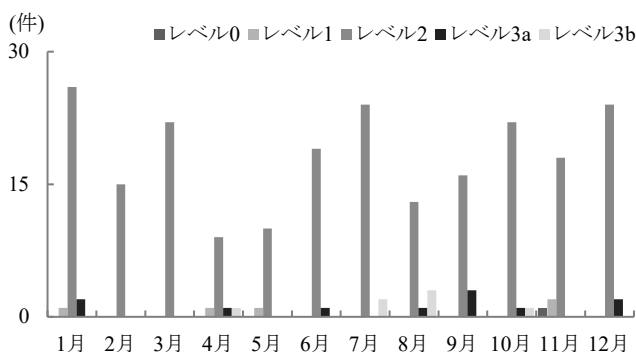
① 有害事象の転倒・転落の低減を図る

転倒・転落発生数は 242 件とわずかなではありますが、前年より 8 件減少し、3b の事案は 7 件と横ばいで推移していました。2023 年は入院による ADL が低下しないよう、理学療法士がリハビリチャンネル解説書を作成しました。解説書は写真やリハビリのポイントを入れることで看護師が理解しやすいよう工夫しています。年々高齢で ADL が低下している患者が増加しており、離床サポートチームによる啓蒙活動が転倒転落有害事象の低減に繋がると考え、次年度も働きかけていきます。

■ 転倒・転落件数および発生率



■ 月別障害レベル件数



② 内服無投薬の低減

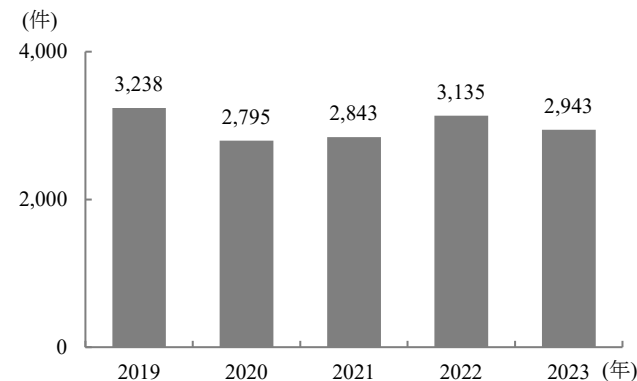
内服インシデント 578 件のうち、無投薬は 92 件(与薬準備段階の無投薬 17 件、与薬段階の無投薬 75 件)で、無投薬件数自体は 63 件減少していました。2023 年は医療安全連携ナース会でダブルチェック方法の一つである一人双方向型の定着を目指し、自己・他者評価や院内ラウンドでの抜き打ちチェック、いつでも確認できるように内服・注射手順に沿った動画作成を行いました。無投薬については一定の効果はあったと思われますが、過少・過剰投与や投与日付間違いも依然多く、連携ナースと協力し、薬剤インシデントの低減に努めていきます。

(4) インシデント報告件数について

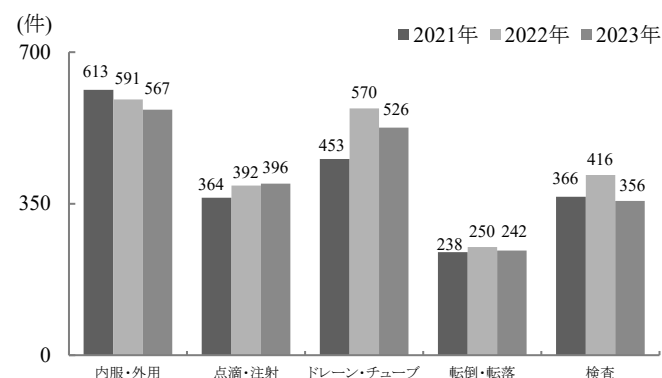
インシデント報告件数は 2,943 件と目標値として掲げた「3,200 件以上の維持」は達成することができませんでした。本来であれば 5,000 件程度の報告とそのうちの医師報告件数は 1 割あることが医療安全活動の透明性の目安とされています。横ばいでしたが医師報告件数も 1 割を満たしていません。疑義照会や放射線科オーダー間違いの報告提出の推進、報告内容の簡素化を会議等で伝達していますが、報告数は減少しており十分とは言えません。適時調査では事務部門報告件数についての指導があり、部門のリスクマ

ネージャーと連携し、業務中のヒヤリとした 0 レベルのインシデント報告の推進とともに、提出しやすい環境調整に取り組んでいきます。

■ インシデント報告件数

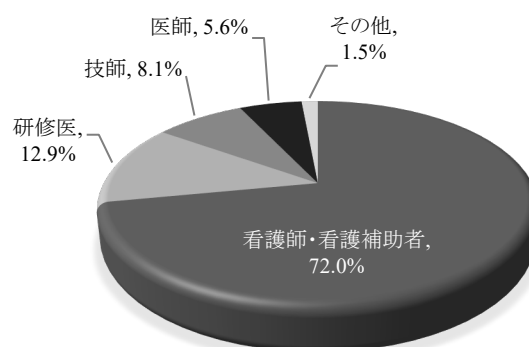


■ インシデント発生上位 5 項目



■ 職種別報告件数

職種	件数	職種	件数
看護師・看護補助者	2,118	臨床検査技師	44
医師	165	臨床工学技士	15
診療放射線技師	113	臨時職員	4
薬剤師	77	理学療法士	3
研修医	379	言語聴覚士	1
SPC職員	19	社会福祉士	5



■ 医療安全研修会

開催日	研修名(テーマ)	対象	参加
4月4日	転入・新規採用職員オリエンテーション研修 令和5年度新規採用職員研修 医療安全管理 チーフリスクマネジャー 重藤美幸	4月新規採用者、研修医、 新規採用看護職員	医師:53名、看護師:52名、 メディカルスタッフ:8名
4月21日	新規採用看護職員第II期研修 移動援助技術と転倒予防 離床サポートチーム リハビリ部門:佐竹敬太、青木卓也、清水麻美 看護部門:森山昭子、松尾有記、稲田富美香、 河野美晴、平田由香理、岩田美紀	新規採用看護師、既卒 (担当者、講師、 医療安全管理者含む)	64名
4月28日	新規採用看護職員第II期研修 安全確保の技術(患者誤認防止) 医療安全推進チーム:濱田季美、池内祐子 看護部門:森山昭子、松尾有記、松本和美、 大崎広美、田中良子、今井友里恵	新規採用看護師、既卒 (担当者、講師、 医療安全管理者含む)	63名
5月8日	臨床検査における医療安全 リスクマネジャー 森山昭子	臨床検査実習生	10名
5月9日	新規採用看護職員第II期研修 薬剤関連リスク 安全な与薬のために リスクマネジャー 森山昭子	新規採用看護師、既卒 (担当者・講師含む)	59名
6月1日～ 8月18日	(e-learning)医療安全研修 基礎シリーズ 「未然に防ぐテクニック」「インシデントレポート」 講師:上尾総合病院 特任副院長 長谷川剛	医師、看護師、 メディカルスタッフ	1,534名
7月4日(2回)	(集合研修)(e-learning)医療安全研修 基礎シリーズ 「未然に防ぐテクニック」「インシデントレポート」 講師:上尾総合病院 特任副院長 長谷川剛	愛媛ホスピタルパートナーズ、 協力企業	89名
7月11日(3回)			115名
9月12日 (午前・午後)	看護補助者研修「守秘義務・個人情報の管理」 リスクマネジャー 森山昭子	看護補助者:67名 (担当者1名、講師:1名含む)	69名
10月12日	新規採用看護職員第III期研修 インシデントレポート KYT チーフリスクマネジャー 松尾有記	新規採用看護師、既卒 (担当者含む)	48名
11月1日	新規採用看護長付事務作業補助者研修 医療安全の基礎知識～個人情報管理～ チーフリスクマネジャー 松尾有記	事務作業補助者:15名 (担当者1名、講師1名含む)	17名
11月6日		事務作業補助者追加	2名
11月10日(3回)	(集合研修)(e-learning)医療安全研修 基礎シリーズ 基礎編「ヒューマンエラー6コース」 講師:早稲田大学理工学術院創造理工学部 経営システム工学科教授 小松原明哲	愛媛ホスピタルパートナーズ、 協力企業	64名
11月28日(2回)			131名
10月1日～ 11月30日	(e-learning)医療安全研修 基礎シリーズ 基礎編「ヒューマンエラー6コース」 講師:早稲田大学理工学術院創造理工学部 経営システム工学科教授 小松原明哲	医師、看護師、 メディカルスタッフ	1,477名
12月1日	新規採用夜間看護補助者研修 医療安全基礎知識 チーフリスクマネジャー 松尾有記	看護補助者:20名 (担当者:2名、講師:1名含む)	22名

■ トピックス研修会

開催日	研修名	対象	参加
6月26日	医療安全研修 テーマ「医療ガスの安全管理について」 講師:愛媛ホスピタルパートナーズ 調達/診療支援部門 武藤美嗣	全職員	医師:2名、看護師:27名、 メディカルスタッフ:7名、 愛媛ホスピタルパートナーズ:14名
9月5日	医療安全研修 テーマ「医療機器の知識を広げよう」 講師:臨床工学技士 湯岑葵、株式会社メディエス 越智高志	全職員	看護師:21名、メディカルスタッフ:8名、 愛媛ホスピタルパートナーズ:7名
10月23日	医療安全研修 テーマ「医薬品の安全な取り扱いについて」「麻 薬の取り扱いについて」 講師:薬剤部次長 鳥谷政和、薬剤師 宇都本孝夫	全職員	医師:4名、看護師:24名、 メディカルスタッフ:7名、 愛媛ホスピタルパートナーズ:4名
11月28日	医療安全研修 テーマ「検体容器・検体の取り扱い」 講師:臨床検査技師 榑野圭亮、尾崎萌	全職員	医師:4名、看護師:22名、 メディカルスタッフ:20名、 愛媛ホスピタルパートナーズ:1名
12月11日～ 1月31日	(e-learning)医療安全研修(中央病院版) テーマ①「放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安 全利用のための放射線研修」、テーマ②「MRI」	全職員	①医師・看護師・メディカルスタッフ: 1,119名 ②医師・看護師・メディカルスタッフ: 1,122名

4. 2024 年度目標

患者誤認防止対策が思ったように効果が得られず、次年度に課題を残しました。繰り返し伝えるのみではなく、何をしなければならないのか、視覚的な注意喚起とともに定期的なラウンドを行うようにしていきたいと思います。大きな事故に繋がらないために、医療安全管理部門で協力体制を整え、患者にも誤認防止活動へ参画してもらいながら、病院全体での患者誤認防止の取り組みの定着化に向けて活動していきます。